

# 高知県感染症発生動向調査(週報)

2010年第10週[3月8日～3月14日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター  
TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869  
<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/>  
E-mail:kansen@ken4.pref.kochi.jp

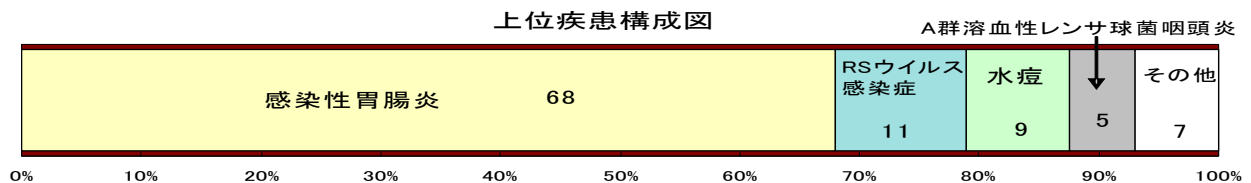
## 県内情報

### ○ 患者情報総評

#### 注意報発令疾患：なし

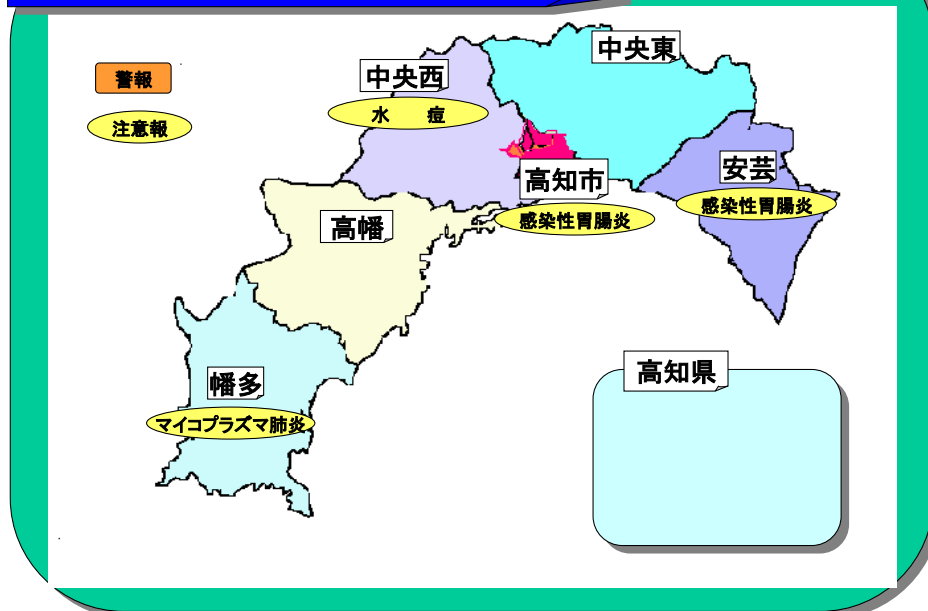
- 週の前半は再び寒気が強まり厳しい寒さとなったが、後半は気温が上昇し過ごしやすかった。寒暖の差が激しく、体調管理に充分注意が必要である。
- 感染性胃腸炎(安芸：注意報→注意報，高知市：注意報)は第6週をピークに減少を続けていたが、今週は増加に転じた。
- インフルエンザは中央東 4例，中央西 2例の報告となった。全国的にも減少傾向が続いているが、中央西の2例は定点からのコメントで、キットでB型陽性となっており今後も注意が必要である。
- RSウイルス感染症は第7週から第8週にかけては大幅に減少したが、その後の減少幅は小さい。
- 水痘(中央西：注意報)は地域毎に増減がみられ、総数はやや増加した。

上位疾患構成図



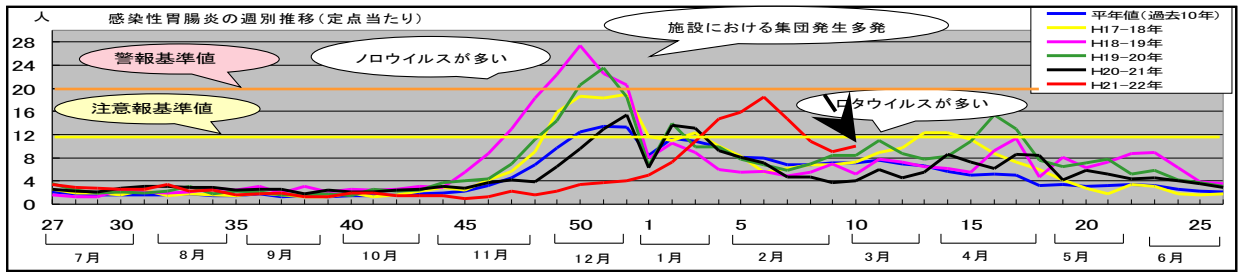
## 地域別感染症注意報・警報発生状況

第10報 (2010年3月8日～2010年3月14日)



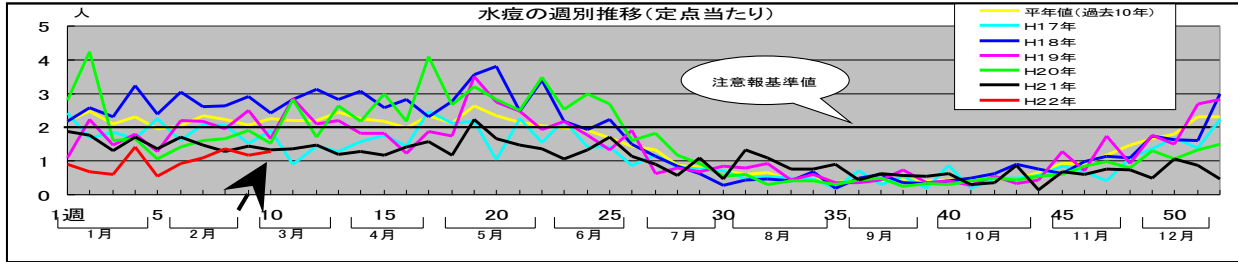
### 感染性胃腸炎：今週10.00 (注意報値：12.00 警報値：20.00)

減少を続けていたが、中央東、高知市、高幡で増加し、総数は増加に転じた。安芸と高知市で注意報値を超しており、搬入された検体からはウイルスはNorovirus GII 2件，Norovirus GI+GII 1件，細菌はCampylobacter jejuni 2件，Staphylococcus aureus 1件が検出されている。また、4～6月にかけては小流行のみられる年もあり、今後も引き続き注意が必要である。



**水痘：今週1.27（注意報値：2.00 警報値：4.00）**

中央西で大幅に増加し、注意報値を超した。また、高知市と幡多ではやや増加し、注意報値に迫る報告数となっている。しかし、その他の地域では報告数は少なく、地域差が大きかった。



○ **検査情報**

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス, 細菌の検出状況
7	感染性胃腸炎	1歳男	高知市	Norovirus G II
7	咽頭結膜熱	4歳女	高 幡	Adenovirus 2
8	RSウイルス感染症	2歳女	幡 多	RSvirus
9	RSウイルス感染症他	2ヵ月男	中央東	RSvirus
10	インフルエンザ	3歳女	高知市	Influenza virus AH1pdm
10	感染性胃腸炎	7歳女	高知市	Norovirus G II
10	感染性胃腸炎	2歳女	中央東	Norovirus G I +G II
9	感染性胃腸炎	11歳男	中央東	Campylobacter jejuni
9	感染性胃腸炎	9歳男	中央東	Campylobacter jejuni
9	感染性胃腸炎	11歳男	中央東	Staphylococcus aureus

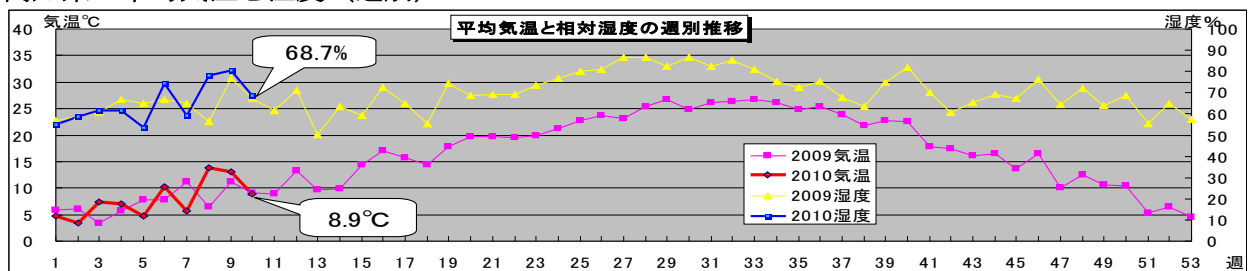
○ **全数報告の感染症情報**

2類感染症：結核 9例（今年31例）

（79歳女，77歳男）《中央東》（83歳男）《中央西》（86歳男）《安芸》  
 （49歳女，29, 50, 81歳男）《高知市》（72歳女）《幡多》

5類感染症：ウイルス性肝炎 1例（36歳男:C型）《高知市》（今年2例）

○ **高知県の平均気温と湿度（週別）**



○ **定点からの地域ホット情報**

幡多：

《さたけ小児科》：マイコプラズマ感染症 1例（2歳女）  
 《渭南病院小児科》：アデノウイルス咽頭炎 3例（1歳男女）

高幡：

《もりはた小児科》：百日咳の1例（11歳男）は東浜株2560倍，山口株1280倍

中央西：

《くぼたこどもクリニック》：インフルエンザの1例（19歳男）はB型陽性  
 感染性胃腸炎の1例（4歳男）は須崎市

《土佐市民病院内科》：インフルエンザの1例はB型陽性

## 高知市：

《けら小児科・アレルギー科》：アデノウイルス扁桃炎 1例（2歳女）

## 中央東：

《あけぼの小児クリニック》：インフルエンザの4例は全てA型陽性  
アデノウイルス咽頭炎 1例（1歳女）

## 全国情報第8週（2/22～2/28）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核285例

3類感染症：コレラ1例、細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症12例（有症者8例、うちHUS 1例）、パラチフス1例

4類感染症：A型肝炎1例、つつが虫病2例、デング熱3例、レジオネラ症9例

5類感染症：アメーバ赤痢7例、ウイルス性肝炎3例（B型：2例、C型：1例）、急性脳炎4例、クロイツフェルト・ヤコブ病3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、後天性免疫不全症候群12例（AIDS 3例、無症候7例）、ジアルジア症1例、梅毒5例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、麻しん3例

報告遅れ：E型肝炎1例、ライム病1例、レジオネラ症2例、急性脳炎5例

### ◆インフルエンザ

2010年第8週のインフルエンザの定点当たり報告数は1.36（報告数6,524）となり、第4週以降減少が続いている。都道府県別では福井県（4.56）、佐賀県（3.74）、富山県（3.06）、新潟県（3.00）、沖縄県（2.47）、長野県（2.26）、岩手県（2.13）、山形県（2.10）、静岡県（1.99）、埼玉県（1.91）、岐阜県（1.91）の順となっている。38都府県では前週よりも減少がみられており、また全ての都道府県で5.00を下回った。

定点医療機関からの報告数をもとに、定点以外を含む全国の医療機関を1週間に受診した患者数の推計値は約7万人（暫定値）と減少し、第28週以降これまでの累積の推計受診患者数は約2,059万人（95%信頼区間：2,039万人～2,079万人）（暫定値）となった。性別では男性約1,063万人（51.6%）、女性約997万人（48.4%）であり、年齢群別では5～9歳約518万人（25.2%）、10～14歳約475万人（23.1%）、15～19歳約280万人（13.6%）、0～4歳約228万人（11.1%）、20～29歳約219万人（10.7%）、30～39歳約155万人（7.5%）の順となっている。

全ての年齢群で、前週よりも減少かまたは横ばいとなっている。但し、推計受診患者数は、受診患者数の多い医療機関がより多く選定されている傾向があることなどから、真の受診患者数より過大であると考えられている。この点を踏まえ、推計受診患者数についてはあくまで参考値として理解していく必要がある。

患者報告数が増加し始めた2009年第28週以降では、2010年第8週までに、全国の地方衛生研究所から28,270件のインフルエンザウイルスの検出が報告され、AH1亜型（Aソ連型）18件（0.06%）、AH3亜型（A香港型）151件（0.53%）、B型19件（0.07%）、AH1pdm（新型インフルエンザウイルス）28,082件（99.33%）とインフルエンザウイルスの検出報告数の大半をAH1pdmが占めている。また、2010年に入っても第1～8週の8週間に検出・報告された2,169件中、AH1亜型0件、AH3亜型3件（0.14%）、B型13件（0.60%）、AH1pdm 2,153件（99.26%）と、現在国内で発生しているインフルエンザの殆どは新型インフルエンザによるものであると推定される状態が続いているが、最近では少ないながらB型やAH3亜型の検出も報告されている。

定点からの報告数は、2009年第48週をピークに減少し続け、2010年第3週に一旦やや増加したものの、第4週以降再び減少が続いている。第8週の定点当たり報告数は1.36となり、インフルエンザの非流行時期のレベルに近づきつつある。しかし、まだ新型インフルエンザの今後の発生動向については不明な点も多く、季節性も含めたインフルエンザの発生動向には注意が必要であると思われる。

### ◆感染性胃腸炎関連ウイルス2009/10シーズン

2009/10シーズンに入ってからからの病原体個票による報告では、2009年第36週～2010年第9週にノロウイルス genogroup (G) I 66件（うち、GI/4 4件、GI/7 2件、GI/8 1件、GI/12 1件、NT 58件）、GII 800件（うち、GII/1 1件、GII/2 46件、GII/3 24件、GII/4 118件、GII/6 10件、GII/12 6件、GII/131件、NT 594件）、G不明120件、サポウイルス23件（うち、GI 4件、GII 2件、NT 17件）、A群ロタウイルス36件（うち、G9 1件、NT 35件）、アストロウイルス（1型）1件が検出されている。

また、集団発生病原体票ではノロウイルス集団感染事例が182事例 [GII 137事例（うち、GII/2 24事例、GII/3 11事例、GII/4 13事例、GII/12 2事例）、GI 17事例（うち、GI/4、GI/8 各1事例）、G不明27事例、ノロウイルス（GI+II）&サポウイルス（NT）1事例] が報告されている。その他に、サポウイルス（GI）が1事例、A群ロタウイルス2事例（うち、G3 1事例）が報告されている。185事例の推定感染経路は飲食店などでの食中毒および有症苦情が85事例、保育所、幼稚園、小学校、中学校、高校、老人施設・福祉施設、ホテルなどでの胃腸炎集団発生が94事例、その他・詳細不明6事例である。

定点名	医療圏 疾病名	安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前週	全国(9週)	高知県(10週末累計) H22/1/4~H22/3/14
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ		4		2			6 ( 0.13 )	8 ( 0.17 )	3,688 ( 0.77 )	2,533 ( 52.77 )
	咽頭結膜熱								2 ( 0.07 )	540 ( 0.18 )	6 ( 0.20 )
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3	12	5	1	3	24 ( 0.80 )	15 ( 0.50 )	5,323 ( 1.76 )	221 ( 7.37 )
	感染性胃腸炎	28	60	133	28	12	39	300 ( 10.00 )	274 ( 9.13 )	34,726 ( 11.48 )	3,514 ( 117.13 )
	水痘		4	16	8	1	9	38 ( 1.27 )	35 ( 1.17 )	5,052 ( 1.67 )	298 ( 9.93 )
	手足口病								5 ( 0.17 )	863 ( 0.29 )	17 ( 0.57 )
	伝染性紅斑			5				5 ( 0.17 )	3 ( 0.10 )	364 ( 0.12 )	18 ( 0.60 )
	突発性発疹	1	1	3			1	6 ( 0.20 )	13 ( 0.43 )	1,620 ( 0.54 )	88 ( 2.93 )
	百日咳					1		1 ( 0.03 )		65 ( 0.02 )	6 ( 0.20 )
	ヘルパンギーナ						1	1 ( 0.03 )	1 ( 0.03 )	146 ( 0.05 )	12 ( 0.40 )
	流行性耳下腺炎	1		2		1	3	7 ( 0.23 )	4 ( 0.13 )	3,289 ( 1.09 )	44 ( 1.47 )
	RSウイルス感染症		5	28	4	3	8	48 ( 1.60 )	53 ( 1.77 )	3,012 ( 1.00 )	696 ( 23.20 )
	アフター性口内炎			2				2 ( 0.07 )	5 ( 0.17 )		20 ( 0.67 )
	眼科	急性出血性結膜炎									11 ( 0.02 )
流行性角結膜炎									1 ( 0.33 )	363 ( 0.54 )	6 ( 2.00 )
基幹	細菌性髄膜炎			1				1 ( 0.14 )		6 ( 0.01 )	1 ( 0.14 )
	無菌性髄膜炎									7 ( 0.02 )	1 ( 0.14 )
	マイコプラズマ肺炎			1			1	2 ( 0.29 )	2 ( 0.29 )	168 ( 0.37 )	10 ( 1.43 )
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								1 ( 0.14 )	10 ( 0.02 )	2 ( 0.29 )
計 (小児科定点当たり人数)	30 ( 15.00 )	77 ( 10.79 )	203 ( 18.27 )	47 ( 15.40 )	19 ( 9.50 )	65 ( 12.80 )	441 ( 14.53 )				
前週 (小児科定点当たり人数)	31 ( 15.50 )	71 ( 9.94 )	188 ( 16.70 )	46 ( 15.33 )	13 ( 6.50 )	73 ( 14.38 )		422 ( 13.83 )	59,253	7,494 ( 217.44 )	

定点当たり

第10週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週
			中央東	高知市	中央西				
内科・小児科	インフルエンザ		0.36		0.40			0.13	0.17
小児科	咽頭結膜熱								0.07
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.43	1.09	1.67	0.50	0.60	0.80	0.50
	感染性胃腸炎	14.00	8.57	12.09	9.33	6.00	7.80	10.00	9.13
	水痘		0.57	1.45	2.67	0.50	1.80	1.27	1.17
	手足口病								0.17
	伝染性紅斑			0.45				0.17	0.10
	突発性発疹	0.50	0.14	0.27			0.20	0.20	0.43
	百日咳					0.50		0.03	
	ヘルパンギーナ						0.20	0.03	0.03
	流行性耳下腺炎	0.50		0.18		0.50	0.60	0.23	0.13
	RSウイルス感染症		0.71	2.55	1.33	1.50	1.60	1.60	1.77
	アフター性口内炎			0.18				0.07	0.17
眼科	急性出血性結膜炎								
	流行性角結膜炎								0.33
基幹	細菌性髄膜炎			0.20				0.14	
	無菌性髄膜炎								
	マイコプラズマ肺炎			0.20			1.00	0.29	0.29
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								0.14
計 (小児科定点当たり人数)		15.00	10.79	18.27	15.40	9.50	12.80	14.53	
前週 (小児科定点当たり人数)		15.50	9.94	16.70	15.33	6.50	14.38		13.83

## 2010年週報推移(定点当たり)

